

柏原市 横断歩道橋の長寿命化修繕計画

1. 背景と目的

(1) 背景

- 本市が管理する横断歩道橋は現在 7 橋あり、このうち建設後 50 年を経過する高齢化歩道橋は現段階ではありません。
- 本市の歩道橋等の社会資本は、高度経済成長期に整備されたものが多いことから、今後 20 年後には、この割合が 71% を占め、急速に高齢化歩道橋が増えてきます。
- これからは維持管理や更新に大幅な予算増加が懸念されます。今後の社会資本の整備においては、「つくる」視点から、現在の施設を長期にわたり有効活用する「生かす」視点へ、転換が重要となってきます。
- 今後、増加が見込まれる歩道橋の修繕・架替えに要する経費に対し、限られた予算の中で安全を確保しつつ、できるだけコスト削減を行っていくことが不可欠な状況です。

(2) 目的

次の 3 つの目的を達成するために、歩道橋の効果的・効率的な維持修繕を行うための「長寿命化修繕計画」を策定し、対策を行っていきます。

- 横断歩道橋の安全性・信頼性の確保
- 事業投資の適正化による説明責任の確保
- 維持管理コストの縮減及び平準化による財政負担の軽減

2. 長寿命化修繕計画の対象横断歩道橋

長寿命化修繕計画の対象は、本市の管理する全歩道橋 7 橋のうち、1 橋は供用開始から 10 年程度で損傷がないため、残りの 6 橋を対象とします。

3. 管理横断歩道橋の状態

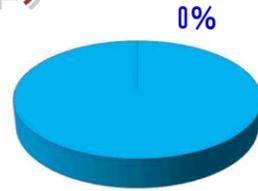
本市では、国土交通省が定める「歩道橋定期点検要領」に基づき、対象歩道橋の点検を完了しました。今後も定期的に点検を実施して行く予定です。

点検の結果、いくつかの歩道橋で損傷が発見されましたが、緊急的に補修が必要な歩道橋は確認されておりません。ただし、補修が必要な歩道橋が見つかりましたので、今回策定した計画に反映し、今後対策を進めていく予定です。

高齢化歩道橋の推移

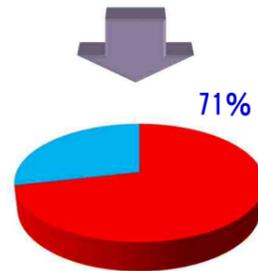
現在（2019年）

建設から 50 年を経過する
高齢化歩道橋
⇒0%



20年後

建設から 50 年を経過する
高齢化歩道橋
⇒71%



柏原市の管理する横断歩道橋



大規模な横断歩道橋(例:河内国分駅東口歩道橋)



鉄道に近接する横断歩道橋
(例:安堂駅歩道橋)

4. 日常の維持管理の方法

従来どおりの日常パトロールを中心とした維持管理により、異常や補修必要箇所の早期発見に努めるとともに、小規模な補修および清掃などを適宜行います。

5. 長寿命化修繕計画の基本方針

- ① 損傷が発生してから対応する事後保全型の管理から、劣化の進行を予測して適切な修繕を行う予防保全型の管理へ転換を図る。
- ② 予防的な修繕を徹底することにより、将来の大規模な修繕・架替えのコストを縮減する。
- ③ 立地条件と損傷状況を考慮して、優先的に対策を行う歩道橋を抽出して対策を進める。

6. 今後の予定

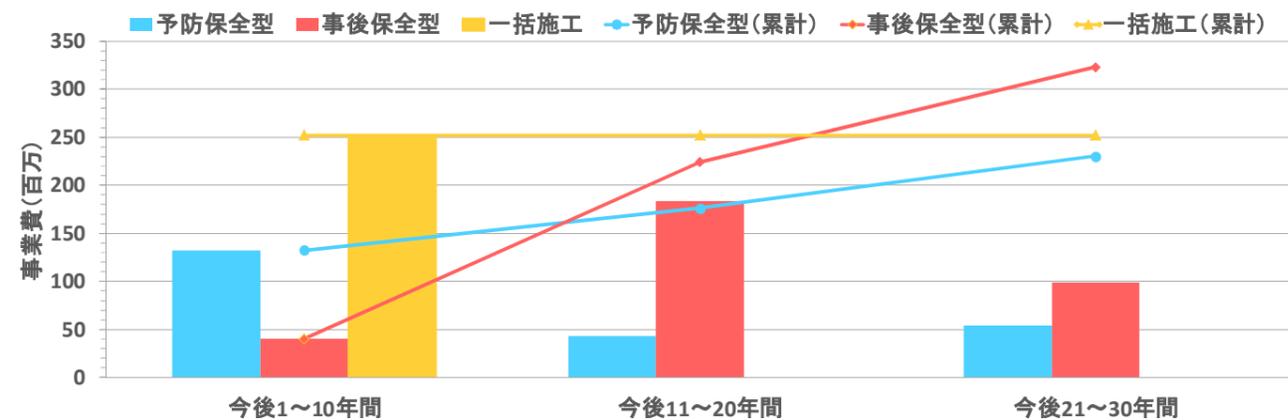
- ① 将来架替えが必要となる歩道橋を、早めに修繕することで長寿命化を図ります。
- ② 2020 年度から、順次予防対策を進めていく予定です。
- ③ 今後 30 年間で 9 千万円（約 30%）のコスト縮減を見込んでいます。

現場調査の様子

高所作業車を使用し点検を行っています。



意見聴取会の様子



意見をいただいた有識者（長寿命化修繕計画検討）

柏原市の横断歩道橋長寿命化修繕計画策定にあたり、

近畿大学 理工学部社会環境工学科
米田 昌弘 教授 工学博士 技術士（建設部門）
東山 浩士 教授 博士（工学） 技術士（建設部門）

よりご意見をいただきました。

柏原市担当部課

柏原市役所都市デザイン部都市政策課

〒582-8555
大阪府柏原市安堂町 1 番 55 号

Tel 072-972-1501
Fax 072-972-1541